

だんごむしかわいいね！

朝からセミのこえが聴こえるようになりました。

大人はつい「あついね～」と言ってしまうのですが、登園してすぐお庭にでてきたお子さんの第一声は「だんごむしみつけたー」です。

今の時期、たくさんのだんごむしを見つけることができます。

毎日のいろいろな情報から、門の横のプランターを先生に持ち上げてもらって見つける子や赤いベンチの後ろ周辺を掘っている子、すべり台の下をおしゃもじで掘っている子など、いろいろなところで見つけることをお子さんは知っています。

蟻にも興味はあります。小さいのなら扱えるが、大きい蟻の捕まえ方はどうしたらいいか。

たくさん捕まえて入れ物に入れてもすぐに出てきてしまうのでどんな入れ物が出てこないか、出てこないようにふさぐにはどうしたらいいのかなど試行錯誤しています。

その点だんごむしは入れ物から這い上がってこれず、ちよつとの振動で丸まってしまいます。

あまり動かないだんごむしを見て「しんじゃった？」「しんだふりじゃない？」「ちよつとあしがうごいたよ」「いきてる！いきてる！」と大喜びです。

身近な虫などにかかわりながら、私たち人間も小さな虫も神様からいただいた同じ尊い命であることや私たちも愛されているように虫たち生き物も大切に愛される存在であることを伝えていきたいと思います。

よく「せんせい～こんなおおきなむしがいる～はねをばさばささせてこっちみているよ～」と教えてくれるのでさぞや大きな虫がいるかと思えば2センチくらいの蛾が壁にじっとしがみついています。

お子さんは怖いと思う心で見たのでそう見えるのかもしれませんが、虫からすればどう見ても私たちは山以上の大きな物にしか見えません。

虫の方が「おおきなやまがおおきなこえをだしてみてるよ～」とじっとしているのでしょう。

絵本など通して小さい生き物の目線(気持ち)を伝えながら、まずは園の生き物にも興味を持ってほしいと思います。そして触っていけない虫なども伝えていきます。